

## □事業の柱と主要事業の概要

### I 地域経済活性化、会員企業の経営支援

A 「大阪賑わい創出プラン」第2次アクションプランに基づく戦略的・先導的具體事業の仕上げと、これまでの取り組みの検証・総括・継承

#### 1. 地域経済を牽引するエンジン産業の振興

##### (1) 新しいモノづくり産業

#### 【モノづくり関連企業が持つ潜在的なシーズの掘り起こしとビジネス化の支援】

##### ①情報家電ビジネスの振興

国内外の企業による新技術やビジネス提案を、大阪・関西の大手家電・IT・通信関連企業につなぎ、新商品開発を促進するため、「情報家電ビジネスパートナーズ」を運営する。また、IT関連の最先端技術の幅広い分野での活用を促進するため、「DCPビジネス・フォーラム」を引き続き開催する。情報家電分野で優れた技術を持つ大阪・関西のベンチャー企業を国内外にPRする「DCPベンチャー認定事業」では従来の支援に加えて大商の海外ネットワークを活用し、認定された海外志向の中小企業の海外展開を支援する。

##### ②モノづくり企業の技術開発・経営改革の支援

人材、時間、資金などの経営資源の不足により、自社内で十分な人材育成を行う余裕がない中小モノづくり企業に対し、熟練技能者の持つ技術やノウハウ、職人の技を次世代に継承するため、「ものづくり分野の人材育成・確保事業」を実施する。

#### 【裾野の広い「環境貢献型モノづくり産業」の振興】

##### ③環境貢献型モノづくり産業の振興

オフィスビル、工場・店舗などにおけるCO<sub>2</sub>排出量を削減することを目的に、ESCO（Energy Service Company）事業者やメーカー、建設設計企業などが省エネ・創エネ機器を共同開発するプラットフォーム「MoTTo省エネ・創エネOSAKAフォーラム」を運営する。

## (2) ツーリズム産業（集客・観光）

### 【大阪独自の都市型ツーリズム産業の振興のための諸施策の一体的推進】

#### ①都市型ツーリズムの振興

大阪独自の都市型ツーリズムの振興を図るため、大阪城周辺の魅力向上を図る方策・提言をまとめる。また、ボランティアガイドによるまち歩き「大阪あそ歩」を通じ、大阪独自の歴史的建造物や住民とのふれあいなどの地域資源を生かした滞在型ツーリズムの振興を図る。さらに「大阪ナイトカルチャー事業」により、夜型観光・滞在型観光市場の拡大を図るとともに、同事業の担い手を育成する。

#### ②ツーリズム産業振興に向けた要望・提言と観光・コンベンション振興団体との連携強化

大阪府・大阪市・大阪観光コンベンション協会などとの連携を強化し、「コミュニティー・ツーリズム」「ナイトカルチャー」「産業観光」など大阪の多様な観光資源を生かした独自の都市型ツーリズムのあり方を探るとともにその推進を図る。

#### ③大阪「食彩」ブランドの構築

大阪固有の食のブランドアイデンティティーの確立を目指し、関連団体などとともに「『食の都・大阪』推進会議」を運営するとともに、大阪から食や食のあり方を「大阪スタイル」として新たに発信するため、「料理コンテスト」や講習会事業、若手料理人独立支援事業などを実施する。

#### ④映画コンテンツ産業の振興とロケーション誘致活動の強化

「大阪ロケーション・サービス協議会」事務局の外部団体への移管を図るとともに、同協議会が実施する大阪での映画企画・制作の促進や、ロケに適した環境づくりを支援する。

#### ⑤なにわなんでも大阪検定の実施

大阪に関する正しい知識を広めるとともに、大阪を愛する機運を醸成するため、7月に施行する「第2回なにわなんでも大阪検定」では、新たに1級試験を設ける。また、「なにわなんでも大阪検定」を多くの方に受験していただくため、大阪府・大阪市・大阪観光コンベンション協会などと共同で、講座・講習会、まち歩きなどの関連事業を実施する。

### (3) ライフサイエンス産業

#### 【北大阪での「創薬」「医療機器開発」クラスターの早期形成】

##### ①北大阪バイオクラスターの形成

大阪府バイオヘッドクォーター・国立循環器病センター・大阪大学・近畿経済産業局などと協力し、北大阪地域と国内外のクラスターとの連携を強化し、ライフサイエンス分野の企業や研究機関のさらなる集積を目指すほか、同地域で創薬、医療機器開発を促進するための仕組みの充実を、各方面に働きかける。

##### ②バイオ情報ハイウェイ第Ⅱ期構想の推進

大阪・関西をライフサイエンス産業の一大拠点とするための「バイオ情報ハイウェイ第Ⅱ期構想（平成16年策定）」に盛り込まれたプロジェクトを推進する。

#### 【企業の医療ビジネスへの進出促進】

##### ③次世代医療機器産業化の推進

大学・研究機関・医療機関などと企業が具体的な医療機器開発を行う「次世代医療システム産業化フォーラム」を引き続き実施し、幅広い分野の企業の医療ビジネスへの進出を促進する。

##### ④創薬関連知的財産権の活用促進

大手製薬メーカーや、国内外の大学・研究機関・ベンチャー企業の間で、各々が保有する特許の使用許諾・売却のマッチングを行うネット上の取引市場「創薬特許マーケット」の運営に加え、実際の面談マッチングも随時設定する「創薬シーズ・基盤技術アライアンスネットワーク事業」を実施する。

## 2. 大阪経済の活性化を実現するための重点テーマへの取り組み

### (1) 企業や研究機関が集積する「大阪」

#### 【国内外からの企業誘致実績の拡大】

##### ①国内外からの企業誘致の推進

「大阪外国企業誘致センター(O-B I C)」において、先端企業が集積する大阪湾ベイエリア地域を中心に、アジア地域のビジネス拠点としての大阪をアピールするとともに、マッチング事業の強化により、海外企業の新規進出促進に取り組むほか、別途大阪府・大阪市と協力して国内他地域からの進出促進を図る。

##### ②バイオ関連の国際連携の促進

戦略的な企業・研究機関の誘致を進めるため、海外バイオセミナー・商談会などの開催・運営を通じ、国内外の企業・大学・研究機関の連携を促進するとともに、医療機器開発の世界的拠点である米ミネソタ州など、海外の有力バイオ関連クラスター（米国・欧州など）との連携を深める。

### (2) 起業家に選ばれる「大阪」

#### 【ベンチャーとエンジェルとのマッチング促進などによる起業件数の拡大】

##### ○ベンチャーの起業・成長支援

成長期待の高い優良ベンチャー企業を発掘し支援する「大商EVEシステム」、個人投資家からの資金面でのサポートを促す「棧ネット」、事業計画の策定・発表訓練を集中的に行う「ベンチャーキャンプ」、大阪証券取引所との共催によりベンチャー企業の成長や新規株式公開を支援する「だいしょうベンチャークラブ」を連携させながらベンチャー支援を行う。

### (3) 地域商工業に活力があふれる「大阪」

#### 【サービス産業の生産性向上への取り組み支援】

##### ①サービス産業のイノベーション促進

サービス産業の経営革新を支援するため、産学官連携によるプラットフォーム「関西サービス・イノベーション創造会議」を運営し、サービス産業の付加価値・生産性向上に資する技術シーズを基にしたワーキング・グループやビジネスモデル発表会を開催する。

## 【個性あるライフスタイルの発信と関連産業の活性化】

### ②ライフスタイル関連産業の活性化と人材育成

ファッションを基点に食（フード）・住（リビング）へと広がりを見せている大阪のライフスタイル関連産業の活性化を図るため、大阪のライフスタイルを「OSAKA STYLING」として体系化し、関連情報を国内外に発信する「大阪スタイリングエキスポ2010」を開催する。

## 【企業のビジネス機会拡大、商店街・個店・まちの活性化人材の育成支援】

### ③地域商業の活性化支援

商店街活性化における5つの課題（財源確保、人材育成・交流、地域資源活用、地域連携促進、地域課題解決）を解決するため、「商店街賑わいプロジェクト」を実践するとともに、誘客・販促などの効果が高く汎用性もある商店街活性化イベント「100円商店街」を市内の商店街で実施する。また、平成21年度の「大阪流通業界の近未来予想調査研究」の調査結果を受け、地域商業の販促活動やイメージアップ事業を検討・実施する。加えて、「商店街観光ガイドツアー」も引き続き実施する。

### ④ザ・ビジネスモールによる企業の商取引拡大支援

本会議所が中心となって運営する国内最大規模の商取引支援サイト「ザ・ビジネスモール」のPRを行い、利用をさらに促進し、中堅中小企業の販路開拓を支援する。

### ⑤公共サービスの民間開放促進による企業のビジネス機会拡大

公共サービスの民間開放促進による企業のビジネス機会拡大のため、大阪市に対しては、すでに第1次対象事業として選定されている「区役所での各証明書等の受付・発行」「水道料金徴収」などの4つの業務に関し、22年度中の民間開放の決定を目指して働きかける。また、「職員研修」「建設業許可申請の受付」などの業務で民間開放がスタートしている大阪府に対しては、案件拡大を目指すとともに、会員企業への説明機会を提供するほか、企業からの事業提案も促進する。

## 【支部を中心とした中堅中小企業に対する経営支援活動の充実】

### ⑥ビジネス・ホームドクターとしての相談機能の強化

経営指導員による巡回・窓口相談を実施するとともに、外部専門家や他の中堅中小企業経営支援事業（「専門相談」「中小企業応援センター」「大阪府中小企業再生支援協議会」「非公開企業のM&A市場」「エキスパートバンク」など）との連携強化を通して、ワンストップによる相談指導内容の質的向上を図る。

## (4) 都市のプレゼンスと求心力の高い「大阪」

### 【道路・港湾・鉄道も含めた都市インフラ全体の整備促進】

#### ①関西国際空港全体構想の促進

航空貨物施設をはじめとする二期島整備など、関西国際空港全体構想の実現のため、地元自治体などとの連携を強化し、政府・関係機関に対する要望活動や支援協力要請に共同で取り組む。また、関西国際空港のハブ空港としての位置づけを国へ要望するとともに、集客・利用促進や国内外航空会社へのプロモーションに注力する。

#### ②集客重点地域（ミナミなど）の整備・活性化

ミナミ活性化協議会を中心に、ミナミ中心街活性化策の検討を行う。また、安全・安心のまちづくりに取り組むため、自転車対策、テナントリーシングのあり方検討など、環境浄化活動を支援し、中心繁華街の再生を促進する。

#### ③道路・港湾などの都市インフラ整備の促進

大阪・関西の持続的発展に不可欠な道路・港湾などの都市インフラ整備を促進するため、地域の意見を反映した要望活動を精力的に行う。特に阪神高速淀川左岸線延伸部の早期着工に力点を置いた要望活動を展開する。

## (5) 美しいまち、安全で安心して過ごせる「大阪」

### 【まちの景観や治安維持・向上活動と、地域における自主的取り組みの定着】

#### ①安全・快適なまちづくりの推進

放置自転車問題の解決や自転車との共生、乗車マナー向上を目指し、ミナミにおいて民間駐輪場を活用した不法駐輪減少のための活動を推進する。

#### ②水都大阪の再生推進

水都大阪の再生を推進するため、大阪府・大阪市・在阪経済団体などが協力して設置する「水都大阪推進委員会（仮称）」に参画し、構想の策定やプロモーションなどに協力する。また、東横堀川水辺再生協議会（eよこ会）の活動などを通じ、大阪市内の水の回廊（堂島川、東横堀川、道頓堀川など）の水辺活性化の促進・景観向上に引き続き取り組む。

## 【地域の活性化に向けた、民主導のコミュニティー・ビジネス支援】

### ③コミュニティー・ビジネスの支援

地域の資源を生かしながら、社会的課題に取り組むコミュニティー・ビジネスを振興するため、大阪NPOセンターと共同で「CB・CSOアワード」を実施し、まちおこしや地域の活性化、雇用の創出に貢献する。また、NPO支援のため、企業とNPOとの事業マッチングを行う。

## (6) 明日の産業を担う人が育つ「大阪」

## 【キャリア教育の一層の推進による健全な職業観の養成】

### ①キャリア教育の推進支援

「大阪キャリア教育支援ステーション」の活動を引き続き支援し、小中高生の「生きる力」育成につながる職業観・勤労観を涵養するとともに、「社会人講師派遣」「職場体験の受け入れ」など学校現場が望む事業を展開する。

### ②小・中学生の企業家精神の高揚

大阪企業家ミュージアムのコンテンツの充実を通じて入館促進を図るとともに、企業家精神・職業観の養成など人材育成事業を展開する。また、小・中学生に企業家精神を効果的に伝えるため、「大阪企業家ミュージアム」の展示企業家の事績などをわかりやすく紹介する漫画冊子などを制作する。

## 【若年層のモノづくりへの関心喚起による、モノづくり人材の育成】

### ③モノづくり人材の育成

モノづくり人材の育成と中堅中小製造業の活性化のため、大阪市内の工業高校を対象に、中堅中小企業の魅力を学生が体感する機会として「中小製造業のモノづくり人材育成支援事業」を実施する。また、子どもの理科離れを防止するため、興味・関心を引き出す実験や、現実の社会での応用例などを企業などの協力を得て紹介する「理科教育支援事業」を引き続き実施する。

## (7) 東アジアが注目する「大阪」

### 【東アジア圏との交流促進・支援策の強化】

#### ①東アジア地域の企業間交流の推進

「大商国際ビジネスサイト」により海外取引情報掲示板を整備・運用し、我が国の中小企業と東アジア圏とのビジネスを支援する。また、東アジアの有望企業の対日進出を促進するため、同企業の経営幹部を招聘し、大阪のビジネス環境への理解を深める「東アジア企業家交流プログラム」を実施する。また、万国博覧会が行われる中国上海などにプロモーションミッションを派遣し、中国からの観光客誘致や企業誘致を図る。

#### ②中国ビジネスの支援

在阪企業の対中ビジネスに関するコンサルティング、セミナー・商談会などを行う「中国ビジネス支援事業」を推進し、変化の激しい中国ビジネスの情報をタイムリーに提供する。

### 【広域的な海外諸国との交流促進・支援策の強化】

#### ③新興国市場向けビジネスの支援

インド・ベトナム・タイ・ロシア・東欧・中東など、中堅中小企業では直接情報の入手が難しい新興国・地域の最新ビジネス情報を提供するため、「新興国市場研究会」を引き続き運営する。また、新興国市場などの海外展開が初めてという会員企業にもきめ細かくサポートする「国際展開サポートセミナー」の開催や、「インドビジネス調査団」を派遣しインドのビジネス環境を調査する。

## 3. 「大阪賑わい創出プラン」の検証・総括・継承

平成22年（2010年）以降の大阪のあるべき姿を「エンジン産業が牽引するアジアの中核都市」とし、その実現のために平成17年度から6カ年にわたって取り組んできた「大阪賑わい創出プラン」の取り組み結果を検証・総括し、継承を検討する。